

家畜の生産性向上にかかる暑熱対策

例年より21日ほど早い5月16日頃に梅雨入りしましたが、これまでの間、晴れの多い状況にあります。

5月～7月は日差しが最も強く、このまま降雨の少ない状況が続き、フェーン現象等も重なりますと、早い時期から暑熱被害が発生する可能性があります。

月別平均気温と降水量(京都府)

	6月	7月	8月
平均気温	平年並みか 高い	平年並みか やや高い	平年並みか やや高い
降水量	平年並か やや多い	平年並	平年並か やや多い

- ◆朝晩の気温が穏やかであっても日中との寒暖差が大きく、正午から午後3時頃の間には急激に気温が上昇するような場合もあります。
- ◆朝昼夕の気温や湿度を点検していただき、こまめに遮光、換気あるいは散水等を行ってください。
- ◆また、万一被害が出た際には家畜保健衛生所へ速やかにご連絡願います。
- ◆**具体的な暑熱対策は裏面を参考としてください。**

＜家畜の生産性向上にかかる暑熱対策＞

畜舎・鶏舎内の温度上昇等への対応

- ・直射日光の遮断、夜間外気の取込
- ・西日の遮光
- ・屋根、畜舎、吸気口への散水、噴霧
- ・家畜への送風、散水
- ・ビニールカーテン吊り下げ
- ・毛刈り（牛）
- ・屋根、壁、床への断熱材、断熱塗装
- ・換気扇、送風ダクトによる強制換気



畜舎屋根へ石灰塗布することで直射日光の影響が緩和されます



畜舎内の送風と散水を有効に活用すると5度程度温度が下がります

畜舎・鶏舎周りの温度上昇の抑制

- ・日陰の整備
- ・寒冷紗の設置
- ・散水



畜舎周辺の地面の高温化は散水で緩和されます

家畜のコンディションの維持

- ・十分な飲水の確保、飼料の変敗防止
- ・適正な飼養密度の確保
- ・飼料は涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす
- ・品質の高い粗飼料の給与、ミネラル等の補給（牛）
- ・ガーリック、ビタミンA、D、Eの利用（豚）
- ・重曹、塩化カリウム、ビタミンCの投与（鶏）

（農林水産省資料参考）